

好き嫌いをへらそう



舌には味を感じるセンサーがある

口の中にある舌がとても重要な器官であることを知っていますか？ 舌は、話す・食べる・味を感じるなどの繊細なはたらきを支えています。

舌の表面には味蕾という器官があり、その中にはたくさん味の覚細胞があります。味蕾細胞は甘い・しょっぱい・すっぱい・にがいなどの情報を信号として脳に送ります。



「おいしい」ってどういうことだと思う？



どういことって聞かれても…
おいしいものはおいしいよね！



そういえば、おいしいってことを
私たちはどこで感じているのかな？

「おいしい」と感じるまでには…

味以外にも、香りや色・形・温度・歯ごたえなどの情報も脳に送られていきます。脳では味覚細胞から送られてきた情報と、その他の情報を総合的に判断して「おいしい！」を察知します。

また、「おいしい」と感じることは、年齢や経験によっても感じ方が変わります。小学生・中学生のみなさん。保育園の時や幼稚園の時、小学生の時に苦手だったあの味も、今食べてみると意外と食べられるものもあるかもしれません。ぜひチャレンジしてみてください！

あま～い

あまみ
甘味

しょっぱい

えんみ
塩味

さんみ
酸味

にがみ
苦味

すっぱい

にがい